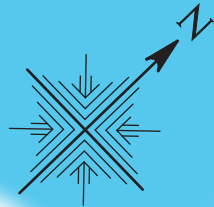


「美ら海とやんばるの風景海道パートナーシップ」

恩納南部めぐり編

58 快適さマップ

自転車の



見どころ

真栄田岬



真栄田の西方にあるサンゴ礁の台地で、琉球石灰岩が隆起してできた険しい海岸です。夕日はとても神秘的で、海岸と平行して伸びるリーフは、ダイビングの好ポイントとして知られ、多くのダイバーが訪れます。

琉球村



琉球村は沖縄の文化・芸能・自然を見て体感できるテーマパークです。村では『工芸品を作る』『おばあさんと語る』『沖縄の文化を学ぶ』という3つのテーマがあり、昔ながらの沖縄を味わうことができます。

仲泊遺跡



仲泊遺跡は、約3,500年前の住居跡、貝塚、明治時代末ごろまで利用された比屋根坂(ヒヤゴンビラ)と呼ばれる石畳など、6つの遺跡を併せた沖縄最大の面積を誇ります。また当時のまま保存された貴重な国指定史跡です。

恩納村博物館



海と山に囲まれた恩納村の人々の暮らしを生活道具や映像、模型などを使って紹介しています。『恩納の暮らし』『恩納のみち』『人々が護る村(シマ)』など各展示室では、さまざまな祭りや行事を映像シアターで上映しています。

万座毛



象の鼻の岩や沖縄特有の植物、隆起サンゴの断崖から臨む東シナ海では、海中の景色と色彩が調和され、とても美しく雄大です。石灰植物群落として天然記念物指定され、『万人も座する草原』という意味を持ちます。



マップ使用上の注意

このマップは、平成19年10月時点の道路状況をもとに作成しています。以後の道路整備により、現地と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

走りやすさ

SS

- 自転車道や自転車レーンがあり最も安全に通行できます。
- 坂がゆるく、おすすめスポットもあり快適に通行できます。

S

- 自転車歩行者道があり安全に通行できます。
- 坂がゆるく、おすすめスポットもあり快適に通行できます。

A

- 自転車道や自転車歩行者道があり安全に通行できます。
- 一部に路面の状態が悪いところがありますが、坂がゆるく快適に通行できます。

B

- 自動車や歩行者など他の交通に注意することで安全に通行できます。
- 一部に急な坂の区間や路面の状態が悪い区間があります。

C

- 自動車や歩行者など他の交通に十分な注意が必要です。
- 急な坂の区間や路面の状態が悪い区間があります。

D

- 幅の狭い路側帯や手押しをとまなう坂があり、通行には特別な注意が必要です。

マップの見方

左側通行を前提に表示しています。

進行方向→ 快適さ「S」評価
←進行方向 快適さ「A」評価

凡 例

- 公園
- 役所
- 運動公園
- ビーチ
- 病院
- テーマパーク
- 岬
- 博物館
- 学校
- 神社
- 郵便局
- 警察署
- ホテル
- トイレ
- その他施設
- コンビニ
- 休憩施設ほか
- 駐車場

指定文化財一覧表

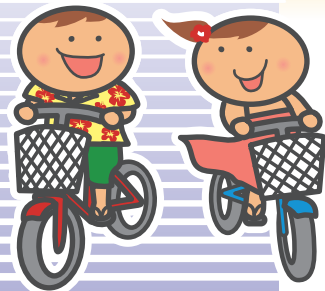
区分	種別	名称	指定年月日
国指定	史跡	⑧ 仲泊遺跡	昭和50年 4月 7日
		⑭ 国頭方西海道	平成16年 9月30日
		⑤ 山田城跡	平成20年 4月 1日
県指定	名勝	②⑥ 万座毛	昭和47年 5月12日
		②⑥ 万座毛石灰岩植物群落	昭和47年 5月12日
村指定	史跡	② 真栄田の一里塚	平成 3年12月 5日
	歴史資料	① 唐人墓の墓碑	平成 3年12月 5日
	民俗・有形	②⑤ 浜崎御嶽	平成 3年12月 5日
		②① カンジャガー	平成 3年12月 5日
		②⑦ ウドゥイガマ	平成 3年12月 5日
	書跡	王文治詩文	平成 3年12月 5日
		除陳光詩文	平成 3年12月 5日

歌碑等

- ① 唐人墓の墓碑
- ② 谷茶前節の碑
- ③ 恩納松下の歌碑
- ④ 恩納ナビーの歌碑
- ⑤ 巖谷小波の句碑

文化財

- ① 真栄田の御待毛
- ② 真栄田の一里塚
- ③ フェーレー岩
- ④ 寺川缸
- ⑤ 山田城跡
- ⑥ 久良波貝塚
- ⑦ 大和浜と大和干瀬
- ⑧ 仲泊遺跡、石畳道、高麗人墓
- ⑨ 仲泊前の御嶽
- ⑩ 仲泊の一里塚
- ⑪ 美留貝塚
- ⑫ 塩屋貝塚
- ⑬ カジャグスク
- ⑭ 国頭方西海道
- ⑮ 親王森
- ⑯ 安幸地原貝塚
- ⑰ アフシマの御嶽
- ⑱ 谷茶貝塚
- ⑲ 谷茶前の浜
- ⑳ ヤウの御嶽
- ㉑ カンジャガー
- ㉒ 神アシアゲ
- ㉓ 兼久の殿
- ㉔ 志喜根貝塚
- ㉕ 恩納グスク、浜崎御嶽
- ㉖ 万座毛
- ㉗ ウドゥイガマ



「美ら海とやんばるの風景海道パートナーシップ」

58 快適さマップシリーズ 恩納南部めぐり

編

恩納村の歴史に情熱を傾ける人々『恩納村文化財案内人道の会』



交通史の分野で、沖縄初の国指定史跡となった国頭方西海道と、文化を今に伝える琉歌の里を中心に、トレッキング、ウォーキング、史跡・琉歌巡りといった活動をしています。

文化財にご興味のある方は、ぜひ恩納村博物館にご連絡下さい。文化財や地域の情報など、情熱と個性豊かなメンバーがご案内いたします。皆様のお越しをお待ちしています。

● 護佐丸



歴史に残る恩納村の人々

護佐丸は15世紀の初め頃、中山王尚巴志とともに琉球統一をなしとげました。護佐丸は城作りの名人で、山田城をはじめ、座喜味城、中城城を築き、さらに首里城の大改築も護佐丸によってなされたと伝えられてます。

● ナビー



恩納ナビーは、18世紀の初め頃、琉歌の歌人として活躍した人です。

恩納岳、万座毛、恩納松並木など、ナビーの周辺には歌の題材になる風物がたくさんあり、恵まれた環境の中でナビーはたくさんの歌を作りました。

その中でも、「恩納岳あがた 里が生まれ島 森んうし除きてい くがたな さな」と、「波ぬ声ん止まり 風ぬ声ん止まり 首里天がなし 美御機拝がま」という二つの歌は傑作といわれています。



歴史の道・国頭方西海道

琉球王府時代(1429～1879)には、首里を起点にいくつかの主要道(宿道)がつけられました。歴史の道「国頭方西海道」も宿道のひとつです。宿道は幅2.4mあり、その両側には松並木が続いていました。しかし、その後の国道の開通や戦争により、これらの姿は大きく変化していきました。

今日では、沖縄県の調査に基づき文化庁や国土交通省(旧建設省)の「歴史国道整備事業」として整備が進められています。石碕や道路の修復、案内板、東屋等の設置を行い、気軽に歴史散策が楽しめるようになっていきます。国頭方西海道は文化庁の「歴史の道百選」にも選定されました。



⑤



山田グスク(国指定史跡)

山田グスクは代々山田按司が住んでいたグスクです。

山田按司の3代目(4代目とする説もある)護佐丸は、尚巴志の三山統一に貢献しました。護佐丸は1416年、尚巴志の命を受け北山討伐を成し遂げた後、座喜味に居城を移しますが、その際山田グスクの石垣を手渡しで座喜味に運んだと伝えられています。建物跡があったことを示す柱穴や青磁器、刀子玉類、矢じり、唐銭類が多数出土しています。

①



唐人墓碑(村指定文化財)

1824年、中国福建省の商船が難破し、乗組員32名中26名は船もろとも溺死、6名が水おけに乗り漂流し、仲泊の浜に打ち上げられましたが、すでに5名が死に、一人のみ仲泊の人々の温かい看護のもとに九死に一生を得て無事本国に戻りました。この墓碑に漂着者5名の名が刻まれています。

(平成3年12月5日指定)

⑧



仲泊遺跡(国指定史跡)

4つの貝塚と1つの洞、比屋根板石置道からなる約3,500年前の遺跡です。

特に第3貝塚周辺では岩陰住居址が確認されました。

石置道は仲泊側からイユミバンタを通り、久良波側に抜ける道で、この近辺は1609年の薩摩の進攻時に琉球王府との戦いの場になったという伝説の地でもあります。この石置道は明治末まで使用されていたということです。

(昭和50年4月7日指定)

③



フェーレー岩

多幸山山中は国頭方西海道も中でも難所の一つとされていました。屋でも薄暗く、フェーレー(山賊)が出没したと言われ、当時行き交う人々に恐れられていた場所でもあります。中でもこの岩近辺は、フェーレーが頻繁に岩の上から婦人の持つ荷を吊るし上げて奪ったという伝説が残る地域であります。

⑤



護佐丸父祖の墓

山田グスクの中央部の中腹、石灰岩の自然穴を利用して造られています。

墓碑は1740年に建てられ、墓を修復した旨の碑文が残っています。この墓は護佐丸を祖とする毛氏系や山田区民が拝しています。

⑤



山田谷川の石碕(国指定史跡)

山田グスクの北側崖下を流れる「谷川」に石碕が架けられています。この石碕は琉球石灰岩の野面積みの桁部分に、中央部がせり上がった特徴のある独特なアーチ形式のものです。

現在の石碕は、既存の石4枚を組み合わせで修復したことになります。

②



真栄田の一里塚(国指定史跡)

多幸山山中(真栄田部落側)を通る宿道沿いに造られています。人工による盛土(炭混入土)で造られています。

東側は畑地開墾によって失われたが、その形だけ簡単に盛土してあります。恩納村には5箇所の一里塚がありましたが、仲泊とここに残っています。また県内でも一里区間を示す2ヶ所の一里塚が残っているのは、恩納村だけであり、貴重な交通遺跡となっています。

(平成3年12月5日指定)

美ら海とやんばるの風景海道パートナーシップ

恩納村博物館

沖縄県恩納村字仲泊1656-8 TEL: 098(982)5112

